



平成28年10月19日
内閣府（防災担当）

南海トラフ沿いの大規模地震の 予測可能性に関する調査部会 (第2回) 議 事 要 旨

1. 日 時

平成28年10月13日（木）10:00～12:00

2. 出席者

山岡座長、井出委員、長尾委員、橋本委員、堀委員、松澤委員
加藤 政策統括官、緒方 官房審議官 他

3. 議題

- (1) 平成25年以降に得られた新たな科学的知見
- (2) 震源域で見られる現象と防災への活用を視野に入れたその評価
- (3) 南海トラフで見られる現象のモニタリングと調査研究の方向性

4. 議事要旨

- 平成25年の報告書公表以降に得られた科学的知見について、委員から以下の情報提供をいただき、議論した。
 - ・主にシミュレーションの知見に基づいた南海トラフの震源域で見られる現象とその評価（堀委員）
 - ・東日本大震災・熊本地震以降の地震予知研究の進展（長尾委員）
 - ・シンポジウム「南海トラフ巨大地震の予測に向けた観測と研究」報告（山岡座長）
- 震源域で見られる現象の評価について、社会的な混乱が発生するおそれがある具体的なケースを想定し、現在の科学的知見からどのような評価が可能かについて、各委員から幅広いご意見をいただいた。
- 地震発生予測に向けた今後の地震活動と地殻変動のモニタリング強化および調査研究のあり方について、各委員から幅広いご意見をいただいた。

以 上